

講義科目	: 介護概論	単位数	: 2
担当	: 田中 武士	学習形態	: 選択科目
		社会福祉士必修科目(69・68・67期生)	

講義の内容・方法および到達目標

みなさんは「介護」という言葉にはどのようなイメージを抱くでしょうか。この言葉の意味を広く捉え人間の尊厳とは何かについて考えます。また人々の生活における「自立」の意義を検討しながら関連する制度や施策を学びます。さらには現代におけるケアのあり方について新聞記事や映像なども用い高齢者や子ども、障がいのある人など分野を横断して学習を進め共有することを目標とします。

授業計画

- 1 オリエンテーション（授業内容の予定と評価の方法）
- 2 介護とは何か（生活から考える）
- 3 介護とは何か（概念から考える）
- 4 ケアをめぐる現状と課題（医療的ケア児）
- 5 ケアをめぐる現状と課題（ヤングケアラー）
- 6 介護の現場から考える（人生の最終段階における医療・ケア）
- 7 介護の現場から考える（緩和ケア）
- 8 介護体験（高齢者体験）
- 9 介護体験（福祉用具）
- 10 ケアにおける倫理（臨床倫理とは何か）
- 11 ケアにおける倫理（四分割法）
- 12 市民と専門職との協同
- 13 地域包括ケアのあり方を考える（介護保険制度）
- 14 地域包括ケアのあり方を考える（地域共生社会）
- 15 まとめ（ケアとは何か）

※受講生の状況によって内容を変更することがある。

教材・テキスト・参考文献等

指定のテキストは使用しない。適宜レジュメと資料を配布する。参考文献は下記参照。ほかにも随時紹介する。

- ・ 広井良典編（2013）『ケアとは何だろうかー領域の壁を越えて』ミネルヴァ書房.
- ・ 坏洋一，金子充，室田信一（2016）『問いからはじめる社会福祉学 - 不安・不利・不信に挑む』有斐閣.

成績評価方法

- ・ 授業への参加姿勢、毎授業後提出の小レポート（50%）
- ・ 定期試験（50%）
- ・ 討論と発表を重視し総合的に評価する。

その他

- ・ 授業を妨げる私語やスマートフォンの操作は厳禁。単位取得は容易ではないので受講登録にあたっては十分留意すること。
- ・ 主体的な姿勢での授業参加を求める。